

防草用歩車道境界ブロック

もうあきらめていませんか？

宿敵、雑草たち！



maruji 株式会社丸治コンクリート工業所

人、環境、リサイクルを考える、それが私たち「まるじ」の仕事です。

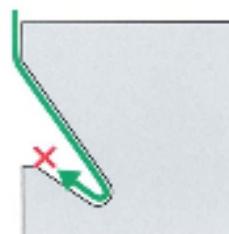
太陽と地球の自然な関係を考えた地球に優しい工法

植物の性質を利用

- 植物には屈地性という性質があります。植物の根は地面の方に向かって成長し、茎はその逆に向かって伸びていくという性質です。根には正の屈地性があり、茎には負の屈地性があります。また植物から光に向かって成長していくことを屈光性といいます。
- 防草ブロックでは本体に切り込みを設けることで雑草が成長してもこれらの性質と反対方向に根や茎を向けさせることにより、雑草の成長が止まる構造になっております。

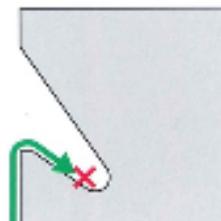
根の成長過程

●根は地中に向かって下向きに成長しようとするが、成長途中で上向きに進路を変えられる為、成長できずに枯れてしまう。

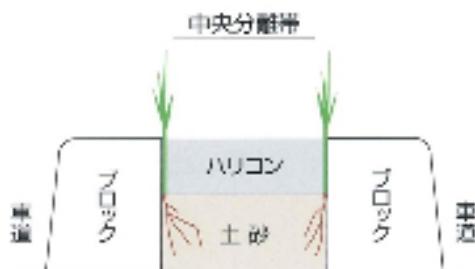


茎の成長過程

●芽は太陽に向かって上向きに成長しようとするが、途中で進路を下向きに変えられる為、成長できず枯れてしまう。



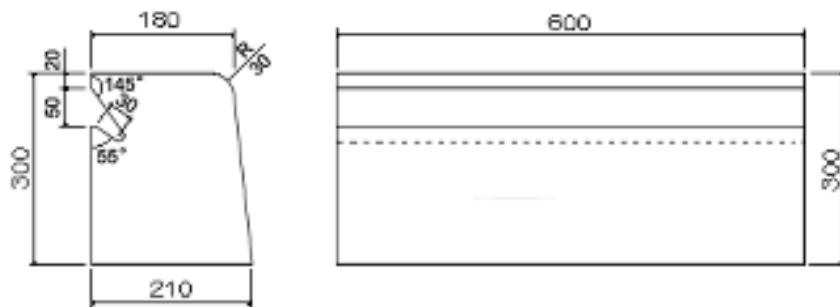
現状



防草工法



歩車道境界ブロック C 防草タイプ



防草技術に対するコメント

国立大学法人 名古屋大学 生物機能開発利用研究センター 教授 北野 英己

この「防草工法」は、楔型の物理的障壁面を水平から下向きに傾ける事により、下から伸びてきた雑草の芽を本来の伸長方向とは逆方向に誘導するような構造にすることにより芽が地上へ出るのを防いでいます。一方、目地の表面近くで発芽した雑草は、楔型障壁の最下部に根が到達しても今度は本来とは逆向きに伸長しなければ土中に到達できないことから養水分が供給されても根の成長が極力抑制されるので、目地に進入した雑草の成長も抑制できる構造になっています。

本防草工法は、屈光性・屈地性といった植物の持つ基本的性質を利用した環境負荷の極めて小さい技術でありながら、施工による「除草経費の削減」や「道路の美観の維持」といった大きな効果が期待できるという点で極めて優れた技術として評価に値すると考えられる事から、この技術が広く普及されることを期待しています。

防草を意図したコンクリート二次製品

特別な資材を全く必要とせず、それぞれの形状をかえただけで防草効果を発揮します。

施工後の除草メンテナンスが不要で、植物の特性を利用した今までにない全く新しい防草技術です。

施工実績

一部をご紹介しています

- 路盤の残根による雑草の成長を抑制します!
- 草刈作業等の経費軽減!
- 道路環境の美観と安全性の継続!

愛知県尾張建設事務所

万博開催
東部丘陵工事

平成16年 4月 完成



愛知県一宮建設事務所

県道[16]多治見大山線
羽黒地内

平成18年 6月 設置



防草ブロック使用箇所



防草ブロック
施工実績

同一物件比較

従来工法



名古屋市
昭和土木事務所

四谷山手通り地区
歩道整備(昭和-2)

平成19年 1月 完成



名古屋市
東土木事務所

百人町交差点改良工事

平成19年 2月 完成



豊明市役所

平成15年度
歩道改良工事

平成16年10月 設置



岐阜県富加町

町道福荷北野線
改良工事

平成20年 3月 設置

